

令和7年度

# 経済福祉常任委員会会議録

令和7年9月4日

福島町議会

会議録の作成にあたっては、誤りのないよう留意しておりますが、時間の関係上、原稿校正は初校よりできなく、誤字、脱字がありましたら、深くお詫び申し上げます。

まことに恐れ入りますが、ご了承のうえご判読いただきたくお願いいたします。

福島町議会議長 溝 部 幸 基

令和7年度

# 経済福祉常任委員会

令和7年9月4日（木曜日）第1号

---

## ◎案件

(1) 意見書の採択について

①安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書

〔陳情団体：北海道医療介護福祉労働組合連合会 執行委員長 濱谷 和子〕

(2) 定例会9月会議後の休会中の所管事務調査について

---

## ◎出席委員（5名）

委員長 佐藤 孝 男

副委員長 小鹿 昭 義

委員 平 沼 昌 平

委員 平 野 隆 雄

委員 溝 部 幸 基

---

## ◎欠席委員（0名）

---

## ◎委員外議員（0名）

---

## ◎出席説明員

なし

---

## ◎職務のため議場に参加した議会事務局職員

議会事務局長 鍋谷 浩 行

議会事務局議事係長 山下 貴 義

議会事務局議事係 角谷 里 紗

---



○委員長（佐藤孝男）

おはようございます。

それでは、ただいまから経済福祉常任委員会を開会いたします。

本日の案件は、次第に記載のとおり、意見書の採択と定例会9月会議後の休会中の所管事務調査についてとなっておりますが、案件に入る前に、申し出がありますので、町長から報告を受けます。

鳴海町長。

○町長（鳴海清春）

改めまして、おはようございます。

開会前の貴重な時間を割いていただきまして、ありがとうございます。

私の方から今回の定例会で補正をしていただく案件の中で、これまであまり議会の方に説明していない中で、急にちょっと町としても必要に迫られた案件が3件ほどありましたので、それについて若干説明をさせていただきたいと思っております。

お手元の方に資料がお配りされていると思うんですけども、まず1点目が保育所の関係になります。

今、保育所について施設を改修させていただいております。ただ、これまでも保育所の前の、皆さんよくお遊戯会とか色んな形で保育所行った時に、駐車場のところが砂利敷きになっていて雨の時など保護者なんかには水溜まりができたりご迷惑かける。また、例えばトンネル記念館や福祉センターでイベントがあった時は保育所の方まで駐車場を使われているという状況を鑑みまして、以前から舗装させていただきたいなという風に考えていたんですけども、単独でそれだけをやるとなかなか財源が生まれにくい状況の中、今回、建物と補修と合わせてやることによって、その財源の資料にもありますとおり過疎債が充当させていただけるということが、うちの方から申し出たら了解をいただいたということで、それであれば、別にやるよりはこの際一緒にやって、過疎債をいただいて財源充当の方が得ではないかということで、急遽、総合開発計画も踏まえて計上させていただいて、9月の定例会でやらせていただくということで、ちょっと金額4,900万ほど張りますけども、そういったなかでやらせていただくように補正をお願いしたいと思っております。

それと2点目の、コンブの生産ということで、今、静岡のヤマザキさんの方と連携をしながら地元シーウィードという現地法人を立ち上げさせていただきました。

それで今回もウニ種苗センターの跡地を利用して色んなことを仕掛けていただきたいということで改修の方もお願いをさせていただきました。それで今は主に間引きコンブこれまで使用されていないコンブをなるべく有効活用しようということで、今色んな仕掛けをさせていただいております。

ただ、シーウィードさんも現地法人の方で、ヤマザキさんの方は体力がだいぶあるんですけども、現地法人の方はなかなかまだそこまで至っていない状況の中で、現在も結びコンブなり色んな形で試行錯誤しながら販路の拡大に努めておりますし、漁業者にとっては大変有難いというか収入が増えているような状況でありますので、我々としてはこれをしっかりまた支えていって軌道に乗せて行きたいという思いがありまして、ただ、ヤマザキさんも創業者の会長が亡くなって、当時、そのシーウィードが出来た経緯もやはり会長の思い、福島のコンブに思い入れがあって協力したいということで今こういった形になっていきますので、代替わりするとまたそこが継続されるのかどうかというのも我々ちょっと不安な要素もありますけども、我々もしっかりと現社長の方にも色んな形をお願いして、事業継続なり新たな展開をしていきたいという思いもありまして、今回ちょっと金額はそうでもないですけど200万ちょっと程そのところの事業応援をさせていただきたいということで、補助金を直接シーウィードさんの方に出すという形の予算を取らせていただきましたので、ご理解いただきたいと思いますと思っております。

それと一番最後が地域商品券の発行ということで、皆さんご承知のとおり、今、大変物価高、そして今年は加えて夏場が暑いということで高齢者も含めてなかなか厳しい、それにさらに加えて福島町の場合ヒグマ警報が出て、7月12日以降、7、8という形でまちが経済的に低迷をしているというか、やはり早朝・夜間出歩かないという形で、やはり消費がだいぶ冷え込んでいるのかなという思いがしておりますので、我々としては経済を少し、お陰様で8月12日以降、市街地での熊の出没はほとんどありません。ただ、山の方ではこれまでも箱罠で5、6頭獲らせていただいておりますので、水際でしっかり押さえて

いるという状況でありますので、これから12月年末かけて、今プレミアム商品券と合わせて地域消費を喚起する商品券を1人1万円の形でありますけれどもやらせていただきたいということで、金額としては少し大きいですが、500万ほどの予算を取って発行したいと。

財源については、今ふるさと納税がお陰様で令和6年度末で1億1,600万ほど残高がありますので、それを少し都会の方々に地元を応援していただくという意味も込めて、そのふるさと納税を少し今回は財源として活用させて予算計上させていただきたいという風に思っていますので、この3点、ちょっと急ではありますが、是非、補正予算を組んでやらせていただきたいということで、今日はこの場を借りて少し事前説明になりますけれども、ご理解をいただきたいなと思ってございます。私からは以上です。

○委員長（佐藤孝男）

報告が終わりましたので、何か確認したいことはありますか。

（「なし」という声あり）

○委員長（佐藤孝男）

以上で、報告を終わります。

暫時休憩いたします。

---

（休憩 9時07分）

（再開 9時07分）

---

○委員長（佐藤孝男）

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

（1）意見書の採択について、①「安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書」を議題といたします。

暫時休憩いたします。

---

（休憩 9時08分）

（再開 9時16分）

---

○委員長（佐藤孝男）

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

お諮りいたします。

意見書を提出することに賛成の方は、起立を願います。

（賛成者起立）

○委員長（佐藤孝男）

起立全員です。

したがって、本意見書の提出は可決されました。

意見書の内容等の調整につきましては、委員長に一任願いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○委員長（佐藤孝男）

ご異議なしと認め、意見書の内容等の調整につきましては、委員長に一任されました。

次に、（2）「定例会9月会議後の休会中の所管事務調査について」を議題といたします。

暫時休憩いたします。

---

（休憩 9時17分）

（再開 9時28分）

---

○委員長（佐藤孝男）

休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

それでは、定例会9月会議後の休会中の所管事務調査は、「2、有害鳥獣対策の現状について」、「5、

第6次福島町総合計画の変更について」、「6、福島町社会福祉協議会の運営状況について」、「7、ごみ減量化対策の進捗状況について」、「8、行政評価（事務事業評価）について」、「9、所管関係施設・事業等の町内視察、執行方針の取り組み状況について」、「10、道の駅への指定管理制度導入について」、「その他所管に関する事項について」とし、令和7年度定例会9月会議に休会中の所管事務調査事件として申し出をいたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○委員長（佐藤孝男）

ご異議なしと認め、ただいまお諮りした内容で、令和7年度定例会9月会議に休会中の所管事務調査事件として申し出をすることに決定いたしました。

○委員長（佐藤孝男）

最後に、3の「その他」について、何かございませんか。

事務局から説明いたします。

○議会事務局長（鍋谷浩行）

それでは、皆様の方に旅費の支出の関係というわけじゃないですけども、工程表みたいなもの置いていると思うんですけど、それをちょっと確認していただきたいのですが、現在、経済福祉常任委員会であワビの養殖施設、岩手県大船渡市、北日本水産の施設を見に行くという視察を計画しております。

日程ですけども、10月から11月にかけて何点かあげたんですが、北日本の方に問合せしましたら11月の18日が受け入れ可能という返事がございまして、10月はちょっと難しいということもありましたので、この18日、19日の1泊2日で視察に行くことで日程は固めたいと考えております。

その件について9月会議にはこの関係で補正予算旅費を計上する予定でもありますので、内容について確認というか了承していただければと思います。

何かあれば、お願いします。

○委員（小鹿昭義）

出発時間と帰宅時間って何時くらいになりますか。

○議会事務局長（鍋谷浩行）

18日は朝一番の新幹線です。木古内6時50何分でしたっけ。

52分だったかな。その時間に出て、盛岡で下りてレンタカー借りて、昼には大船渡に着くような形。大船渡で2時間ほど視察をした後、また盛岡に戻って盛岡に1泊をして次の日の午前中の新幹線があればそれで行って帰ってきますので、大体福島に着くのは早ければ13時か14時くらいかなと考えております。確か盛岡から木古内まで2時間ほどだったと新幹線。今の予定です。まだ切符とか全然取っていないので、時間はあれですけども。

○委員（溝部幸基）

4月の時に計画した内容と今回は違うという話しをしなければならないということで、4月の場合は東京福島会の時に対応するというので町長の方にもお願いして、本当は政務活動費の対応ということも考えたんですけども、全員で年度当初からということになると結構な負担にもなるので、別に旅費の対応をお願いしたということなんですけども、今回は常任委員会の所管の部分の中で視察をするということで、ですから常任委員会のメンバーで行くということで予算を組むということの違いを言わないと。

○議会事務局長（鍋谷浩行）

ということです。

議長言ってしまったので、なので今回はこの委員会という形を取ります。

事務局は当然1人付いて行きますけど。

○委員長（佐藤孝男）

小鹿委員、参加できるかい。

○委員（小鹿昭義）

俺はあまり参加したくないけど、犬居るから犬預からなければならないから、だから今時間聞いているの。

○委員（溝部幸基）

議会活動の方が優先しないば……………。

○委員（平沼昌平）

旅費は2万3,080円。

○議会事務局長（鍋谷浩行）

違います。これはまとめて出すための、これは運賃だけなのでこれに宿泊費足さりますので、大体4万円近くになります。

○委員（溝部幸基）

それは別に補正予算で、視察……………。

○議会事務局長（鍋谷浩行）

1人4万円ぐらいです。議員と事務局1人随行という形で予算を取ります。

○委員（平沼昌平）

4万円ぐらい用意すればいいでしょ。

○委員（溝部幸基）

いや、違うって。自己負担はないです。

○議会事務局長（鍋谷浩行）

そうですね、自己負担はあれですけど4万円ぐらい用意してくればいいです。

よろしいでしょうか。

それで進める形で。

○委員（平沼昌平）

レンタカーはこの間乗ってきたようなやつでいいのかな。

○議会事務局長（鍋谷浩行）

人数が人数なので、またノアとかヴォクシーとかセレナとかそのぐらいで対応可能かと思います。

○委員（平沼昌平）

駅前にあるもんな。日本レンタカー……………。

○議会事務局長（鍋谷浩行）

ありますね。盛岡は普通にあると思います。

○委員長（佐藤孝男）

小鹿委員もなるべく犬をどこかに、一時ちょっとだから。

あと何か、その他でないですか。

（「なし」という声あり）

○委員長（佐藤孝男）

ないようですので、以上で、本日の案件をすべて終了いたしました。

これをもちまして、経済福祉常任委員会を閉会いたします。

どうも、ご苦労さまでした。

---

（閉会 9時35分）

福島町議会会議条例第157条の規定により署名する。

経済福祉常任委員会委員長      佐藤孝男